

離島、へき地等の在宅看護を 支援する「オリーブナース」研修

公益社団法人 香川県看護協会
東條美春 渡邊照代



「オリーブナース」育成研修は
かがわ医療福祉総合特区の
事業としてスタートしました



かがわ医療福祉総合特区とは

医療資源が乏しく、過疎化と高齢化が進む島しょ部・へき地の住民を含むすべての県民が、一定水準の医療と福祉が受けられ、安心して生活できるよう



医師だけでなく看護師・薬剤師などの
医療人材や遠隔医療システムなどの医
療資源を有効に活用し福祉との連携を
図ることで、島しょ部・へき地を含む地
域の医療モデルとなる環境をつくること
を目的に香川県が申請し昨年度末指
定されたもの



「オリーブナース」とは
どんなことをする看護師？
通常の看護師と一体どこが違うの？



オリーブナースとは

所定の研修を修了し、離島、へき地
あるいは医療体制の確保が困難な医
療機関等において、ドクターコムを活
用して、遠隔地の医師からの指示を受
け、在宅看護を実践する看護職員のこ
とをいいます



ICT活用で遠隔診療

ドクターコムとは医師が病院にいら、パソコンに搭載したカメラを通じて在宅患者の映像を確認し、診察室内と同じように診療がおこなえるシステムです



かがわ医療福祉総合特区【香川県】

～小豆島をはじめとする、かがわ遠隔医療ネットワークを生かした安心の街づくり～



香川県の概況

面積1,876.53km²

(全国最小)

人口995,842人

(高齢単身世帯が5年で15.8%増加)

- ・三方を瀬戸内海に囲まれ24の有人離島を有する
- ・平成15年に全国初の全県的医療ネットワーク「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」が運用開始



目標

遠隔医療システムの積極的な導入や医療従事者がより活躍できる環境整備により、全ての県民が、常に質の高い医療・福祉を享受し、地域で安心して暮らせる香川県の実現

人口減少と高齢化に伴う医療、福祉の課題を克服する全国的なモデルを構築

期待される効果

5年後の経済効果

ドクター・コム利用の活用、へき地薬局の開設、複合型福祉サービス創設、小豆島2病院の統合、ブロードバンドの整備等：88.3億円

5年後の新たな雇用

新規事業による雇用創出：685人



政策課題

I. 島しょ部・へき地における医療モデルの構築

日常的な医療の充実

- 医療資源の地域偏在
 - ・無医・無薬局地域の点在
 - ・医療人材の不足
- 高齢化の進行
 - ・病状の慢性化

人口10万人当りの従事医師数

大川医療圏域：155.2人
小豆医療圏域：157.1人
(全国平均：206.3人)

II. 救急・災害医療における機能の向上

緊急時・災害時対応

- 救急医療対応
 - ・救急患者の増加
 - ・医療・救急体制の逼迫
- 大災害への備え
 - ・東南海・南海地震

III. 島しょ部・へき地の要介護者・高齢者への支援の充実

医療・福祉の連携

- 介護サービスの充実
 - ・医療と福祉の連携
- 高齢者等の活動支援
 - ・健康増進の基礎
 - ・地域コミュニティの絆の確保

解決策

遠隔医療・医療連携

- ドクター・コム活用促進事業
- 遠隔医療ネットワークコンサルティング事業

くすり・医薬連携

- へき地薬局開設事業
- 処方情報電子化・医薬連携事業

救急・災害医療

- 救急・災害医療連携事業
- 医療ライブラリー事業

福祉

- 複合型福祉サービス充実事業
- 公共施設有効活用事業
- 交通弱者外出支援事業

規制緩和・特例措置

◆無診療治療等の禁止の緩和

⇒ドクター・コムを通じた遠隔の医師の指示に基づくオリブナースによる診療の補助



◆薬局管理者の従事制限の緩和

◆薬局以外の場所における調剤制限の緩和等
⇒①地域の薬局の連携によるへき地薬局の開設・管理
②患者宅での調剤薬の交付

◆救急救命士による処置範囲の拡大

◆救急隊の編成基準の緩和等
⇒遠隔での医師の管理下での救急患者の搬送

◆既存の介護サービスと居宅療養管理指導の複合型サービスの創設等

◆市町村運営有償運送の拡充
⇒要介護者や高齢者の活動促進・利便性の向上

地域独自の取組

独自ルールの設定

- ドクター・コムを通じた遠隔での医師の指示に基づき、診療補助を行う「オリブナース」の育成のための研修
- へき地薬局の運営体制
- 事業の検証体制の構築等

財政上の支援措置

- ドクター・コムの機能強化、研修費用の補助
- 超高速ブロードバンドの整備等



【ドクター・コム】

地域協議会参画団体

自治体関係者

香川県、高松市、坂出市、さぬき市、土庄町、小豆島町

民間企業

日本銀行高松支店、(株)STNet、(株)ミトラ、高松琴平電気鉄道(株)、(NPO法人)eHClK

大学、研究機関等

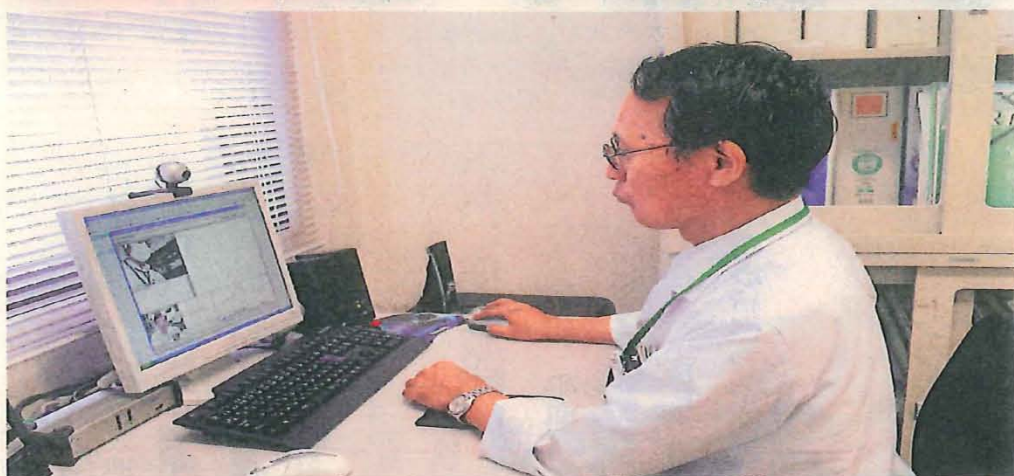
香川大学、徳島文理大学、県へき地医療支援センター、(社)香川県医師会、(社)香川県薬剤師会、(社)香川県看護協会

★【ドクター・コム】 遠隔地の医師が、パソコンに搭載したカメラを通して、在宅の患者や診療補助を行う看護師等の映像を見ながら、検査結果や診療情報と合わせて、診察室と同じように診療を行うことが可能な電子カルテ機能付きテレビ会議システム

特集2

かがわ医療福祉総合特区

三方を海に囲まれ、24の有人離島を有し、各地にへき地が点在する香川県。病院や薬局が身近になく、公共交通機関の整備も十分でないことから、医療機関への通院が困難な人もいます。こうした課題解決のため、県は国に申請し、平成23年12月に「地域活性化総合特区」に指定されました。独自に開発した「ドクターコム（電子カルテ機能統合型テレビ会議システム）」などを活用して、へき地や島しょ部を中心とした地域医療の充実を目指しています。



ICT活用で遠隔診療

町立内海病院（小豆島町）は、20年度からドクターコムによる遠隔医療モデル事業を行っていきます。ドクターコムとは、医師が病院にいながら、パソコンに搭載したカメラを通じて在宅患者の映像を確認し、診察室内と同じように診療が行えるシステムです。看護師が端末を持って患者宅を訪問し、患者の様子を報告。院内の医師は患者の映像と、検査結果や診療情報などを確認しながら診療を行います。

「訪問看護を行う場合、これまでは事後報告に基づいて、その後の治療計画を立てていました。ドクターコムを使えば、離れた場所にいってもリアルタイムでの診察が可能に。看護師からの報告に映像と音声加わることで判断

材料が増え、よりその人にあった医



久保さん

オリーブナース研修 参加者募集

研修期間：平成24年11月22日（木）～平成25年3月2日（土）

場所：公益社団法人香川県看護協会（高松市国分寺町）

研修費：13,000円

対象：県内の離島・へき地などで医療機関に従事する人、
または従事を希望する人で、看護師資格取得後5年
以上の実務経験を有する人。eラーニング（インタ
ーネットによる学習）を受講できる環境にある人。

特徴：・研修はeラーニングを中心に、集合研修、実地研修で構成。
・eラーニングは自宅で繰り返し学習できる。
・地域医療、看護に携わる専門性の高い講師が学習を支援。
・最新の医療情報ネットワークシステム（ドク
ターコム、K-MIX）を使った実地研修を行う。

問い合わせ先：同協会 ☎087-864-9070

療を提供できるようになります」と、同病院の久保文芳院長。特区の認定を受けて、今後、本格的な運用を目指します。

訪問看護の専門家を

通院が難しい人にとって、訪問看護はなくてはならないものです。今年11月から、ドクターコムを活用して訪問看護を実践する「オリーブナース」の研修が始まります。

研修を実施する公益社団法人香川県看護協会の渡邊照代会長は「高齢化に伴い、へき地や島



渡邊さん

のでは。病院での勤務と違い、訪問看護は一人の判断に任されることが多い。ドクターコムがあれば、ケアに当たる看護師はもちろん患者さんにとっても、心強いですね」と話します。

研修では、ドクターコムの操作方法のほか、超音波検査やインフルエンザ検査の方法も学びます。看護職のスキルアップとともに訪問看護の幅の広がり、離職者の復職も期待できそうです。

地域の健康見守る薬局

11月末、さぬき市の多和地区に開設予定の「へき地薬局」は、住民や医師の要望に応えた新しい形の薬局です。

同地区にへき地診療所は

しよ部に限らず、県内全域で在宅ケアのニーズが増える

「オリブナース」育成事業

現状と課題

- ・へき地や離島においては、医療機関の不足や住民の高齢化、通院のための公共交通機関の不足などから、在宅医療・訪問看護の充実が求められている。
- ・看護師は、比較的簡易な医療行為であっても、訪問看護先などでは、事前の医師の指示に含まれていない行為に関しては、対応できないために、症状の改善に時間を要したり、症状が悪化する場合がある。
- ・看護師不足も進行しており、看護師が魅力を感じ、能力を発揮できる職場環境の整備や研修の充実が求められている。
- ・専門看護師や認定看護師の資格取得に当たっては、半年以上医療現場を離れて教育を受けることが必要であり、看護師不足の離島・へき地の医療機関にとって、ハードルが高いが、一定の技能取得のために教育の場が必要。

事業の概要

★へき地限定「オリブナース」育成事業：へき地や離島において訪問看護等を行う看護師をドクターコムを活用したテレビ会議型eラーニング等で「オリブナース」として育成。

★ドクターコム事業：リアルタイムでへき地などの住民がPC画面を通して在宅のまま、病院の医師の診療を受けることや訪問看護師が医師の具体的な指示のもと一定の処置を行うこと等を可能として、在宅医療をすすめる。

規制の特例措置

★無診療治療の制限緩和(医師法第20条)

ドクターコムを通じた医師の具体的な指示を受けた「オリブナース」が、簡易な検査(エコー、インフルエンザ)や創部の洗浄などの簡易な外傷処置を実施

財政支援

★へき地限定「オリブナース」育成のための教育に係る費用

オリブナースの育成案

- ・育成：6ヵ月程度のテレビ会議型eラーニングを活用した教育
授業時間数：150時間程度
うち、集合演習及び臨地実習(高松市内で実施)
- ・教育機関：県事業として、看護協会に委託
(事業費：国定額補助、残り県負担)
- ・カリキュラム：訪問看護、在宅医療などを組み合わせて構成
- ・対象者：経験年数5年以上でへき地等での訪問看護に従事・又は興味のある看護師
- ・活動地域：島嶼部及びへき地診療所、無医地区、準無医地区など

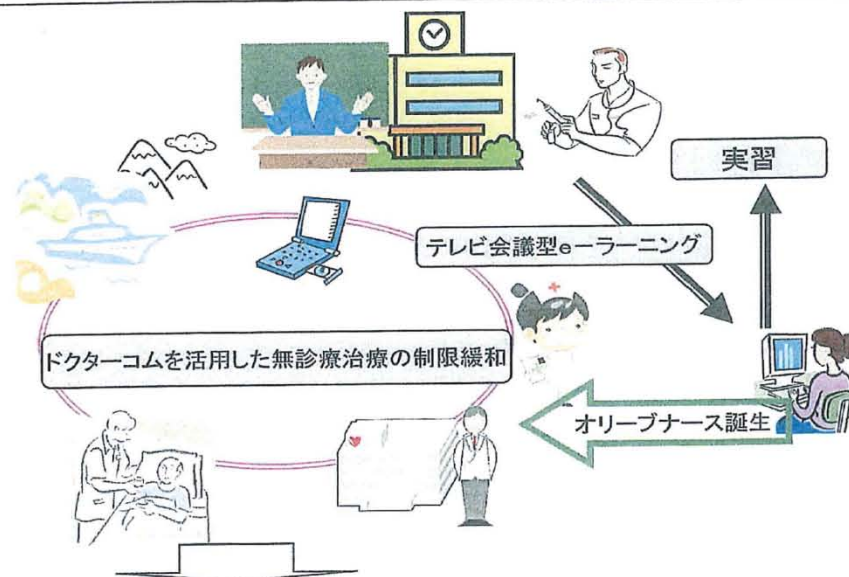
工程

★へき地限定「オリブナース」育成事業

H23年度～24年度 対象資格及び教育課程、資格の認証の検討
H24年度～ オリブナースの育成開始(1サイクル20人程度育成×2カ年度)

★ドクターコム事業

研修を修了したオリブナースによる、ドクターコムを活用した在宅看護の実施



看護師の役割拡大による医療の平準化とへき地住民の在宅医療環境の向上

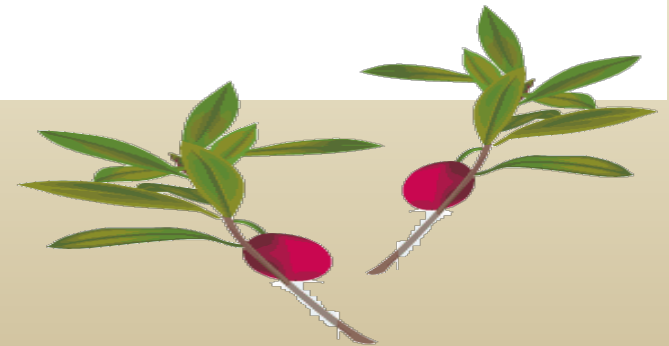
オリーブブナース研修概要



オリーブナース研修実施要綱

目的

1. 離島・へき地あるいは医療体制が困難な医療機関等に勤務する看護職に対し医師との協働と連携のもと在宅療養支援の充実を図ることを目的に必要な基本的な知識・技術を習得する
2. 在宅療養支援において医師等と協働しながら看護職としての専門性とリーダーシップが発揮できる素地を養う



研修期間

○平成24年11月22日～平成25年3月2日

研修対象

○県内の離島・へき地あるいは医療体制の確保が困難な医療機関等に従事、あるいは従事を希望する者

○看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する者

○eラーニングの学習環境を準備できる者

募集人員

○20名



eラーニング推奨パソコン等環境

推奨OS

WindowsXP(SP3)、WindowsVista(SP1以上)、Windows7

※WindowsXPSP1/SPlA/SP2、SPなしのVistaについては動作保障していない。

※Mac環境下での受講についてはOS:MacOSX,10.4.10、ブラウザ:Safari5での動作確認をしているがPCによっては不具合が生じる場合がある。

メモリ

512MB以上 ※WindowsVista、Windows7の場合はMicrosoft社の推奨環境を参照のこと。

モニター解像度 1024×768ピクセル以上

ブラウザ

InternetExplorer6.0,7.0,8.0

※NetscapeNavigator、chromeは推奨環境外となっている。 ※Firefoxでは正常に表示されない。 ※Safari5での動作は確認しているが、使用のPC環境によっては不具合が生じることがある。受講にあたっては推奨環境合致するバージョンのInternetExplorerの利用を勧める。

プラグイン

AdobeFlashPlayer10.0以上 AdobeReader6.0以上

通信速度

ブロードバンド環境(ADSLや光回線で下りの実効速度で2Mbps以上推奨)

※利用のインターネットプロバイダやNTT基地局との距離によっては正常に表示されない可能性がある。

カリキュラムの特徴

○eラーニング学習

自宅・職場等で都合のよい日時に自己学習が可能

○地域医療・看護の専門性が高い講師が学習支援

○最新の情報ネットワークシステムを活用した実地研修



学習方法

eラーニング

自宅・職場で学習



集合研修
看護協会



実習(4施設)

ドクターコム

活用体験

eラーニング学習

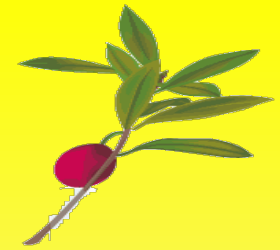
訪問看護

- 訪問看護概論
- 訪問看護対象論
- 訪問看護展開論
- 訪問看護システム論
- 訪問看護技術論
- (対象別技術論・医療処置別技術論・訪問看護展開のための知識・技術)
- 訪問看護管理論

在宅看護

- 臨床薬理学
- 在宅医療病態論
 - 呼吸系
 - 循環器系
 - 脳血管系
 - 運動器（骨・関節）系
 - 生殖器（泌尿器）系
 - 糖尿病、認知症
 - 神経難病

集合研修



科目	内容
- 超音波検査法演習 - 在宅医療管理技術 - 安全管理 - フィジカルアセスメント	- 腹部エコーの基本操作と基本画像 - 排泄ケア、スキンケア、各種ドレーンの管理 - 化学療法を受ける患者の薬物管理 - 在宅における栄養管理 - 福祉用具を利用した効果的な看護支援 - 安全管理の概念、リスクマネジメント 在宅における感染対策 - フィジカルアセスメントの考え方と実際

実 習

目 的

離島・へき地あるいは医療体制が困難な医療機関において、医師と協働、連携を行い在宅療養者の健康状態に応じた看護の実際を学ぶ



実習目標・内容

目 標

1. 在宅療養者が自宅で生活を継続していくために必要な看護を考えることができる。
2. 在宅療養者のニーズ、健康状態に応じた看護方法が理解できる。
3. 在宅療養者や他職種、諸機関との協力、連携の在り方が理解できる。
4. 在宅訪問地域の特性と健康課題を理解することができる。

内 容

- ・療養環境、暮らし方、生き方
- ・在宅療養者や家族が抱える健康問題
- ・社会資源の活用状況
- ・在宅療養者の病状、健康状態、自立度
- ・健康問題に対する解決方法
- ・在宅療養者や家族に必要な社会資源
- ・ドクターコム[®]の活用状況
- ・他職種への情報提供、交換、共有
- ・他職種との協働、連携方法
- ・訪問地域の特性と健康課題
- ・地域の保健・医療・福祉サポート体制
- ・地域の在宅ケアシステム

実習方法

1. 実習場所

内海病院、土庄中央病院、陶病院、
高松市民塩江分院で実施

2. 実習日数および実習時間

1) 実習日数: 12月から2月までの間で3日間

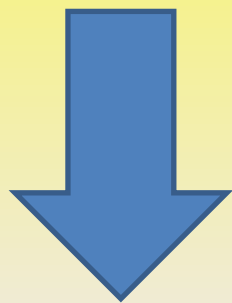
2) 実習時間: 9:00～16:00

研修評価

- eラーニング学習後の確認テスト
- 実習記録
- 実習後の課題レポート
- 出席状況

プロトコール委員会

オリーブナース業務基準・手順の作成



情報共有と質の向上

今後に向けての取り組み課題

- ドクターコムを活用した実習の充実
- オリーブナースが実施する診療補助行為
- 集合研修をeラーニング学習に変更
- オリーブナース研修評価の在り方
- 「オリーブナース」研修修了者の資格認定
- オリーブナースのネットワークづくり

「オリーブブナース」1期生の背景



離島・へき地等の在宅看護を支援する

「オリーブナース」研修 参加者募集



かがわ医療福祉総合特区の事業として
「オリーブナース」研修がスタートします

「オリーブナース」とは所定の研修を修了し、離島・へき地あるいは医療体制の確保が困難な医療機関等においてドクターコム（電子カルテ機能統合型テレビ会議システム）を活用して遠隔地の医師からの指示を受け、在宅看護を実践する看護職員のことをいいます。この研修では在宅療養支援において医師との協働と連携のもと、看護職としての専門性とリーダーシップが発揮できる知識や技術を習得することができます。あなたもぜひ、この「オリーブナース研修」でキャリアアップしませんか。

研修日時：平成24年11月22日（木）～平成25年3月2日（土）

場 所：公益社団法人 香川県看護協会 看護研修センター

募集人員：20名

研 修 費：13,000円（日本訪問看護振興財団のeラーニング受講料）

特 徴：

1. 研修はeラーニング学習、集合研修、実地研修で構成されています
 - ・eラーニング学習方法を多く取り入れ、仕事をしながら自宅でいつでも都合のよい日と時間に学習ができるようになっています
 - ・eラーニングは何回でも繰り返し学習することができます
2. 地域医療・看護に携わっている専門性の高い講師が研修生の学習を支援します
3. 最新の情報ネットワークシステムを活用した実地研修を行います
 - ・ドクターコム（電子カルテ機能統合型テレビ会議）
 - ・K-MIX（かがわ遠隔医療ネットワーク）

対 象：

1. 県内の離島・へき地あるいは医療体制の確保が困難な医療機関等に従事する者又は従事を希望する者で、看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する者
2. eラーニングの学習環境（裏面参照）を準備できる者

申込方法：所定の申込用紙をご利用ください（公社）香川県看護協会ホームページ参照

申込締切：平成24年10月31日（水）

お問い合わせ：087-864-9070

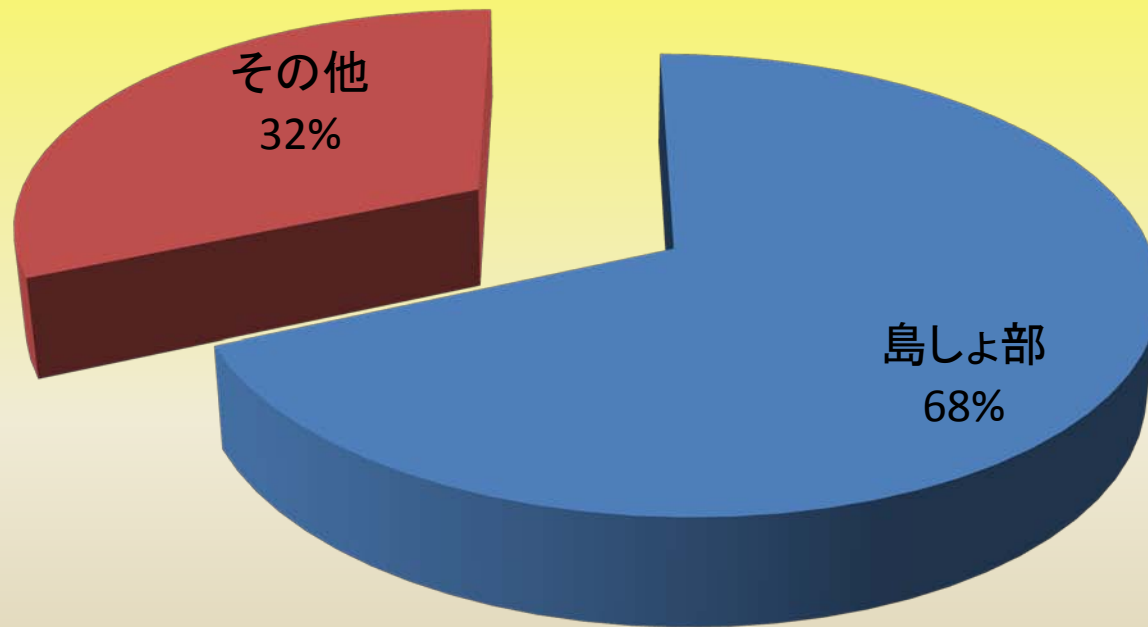
主催：公益社団法人香川県看護協会（協働推進研修事業助成費による委託事業）



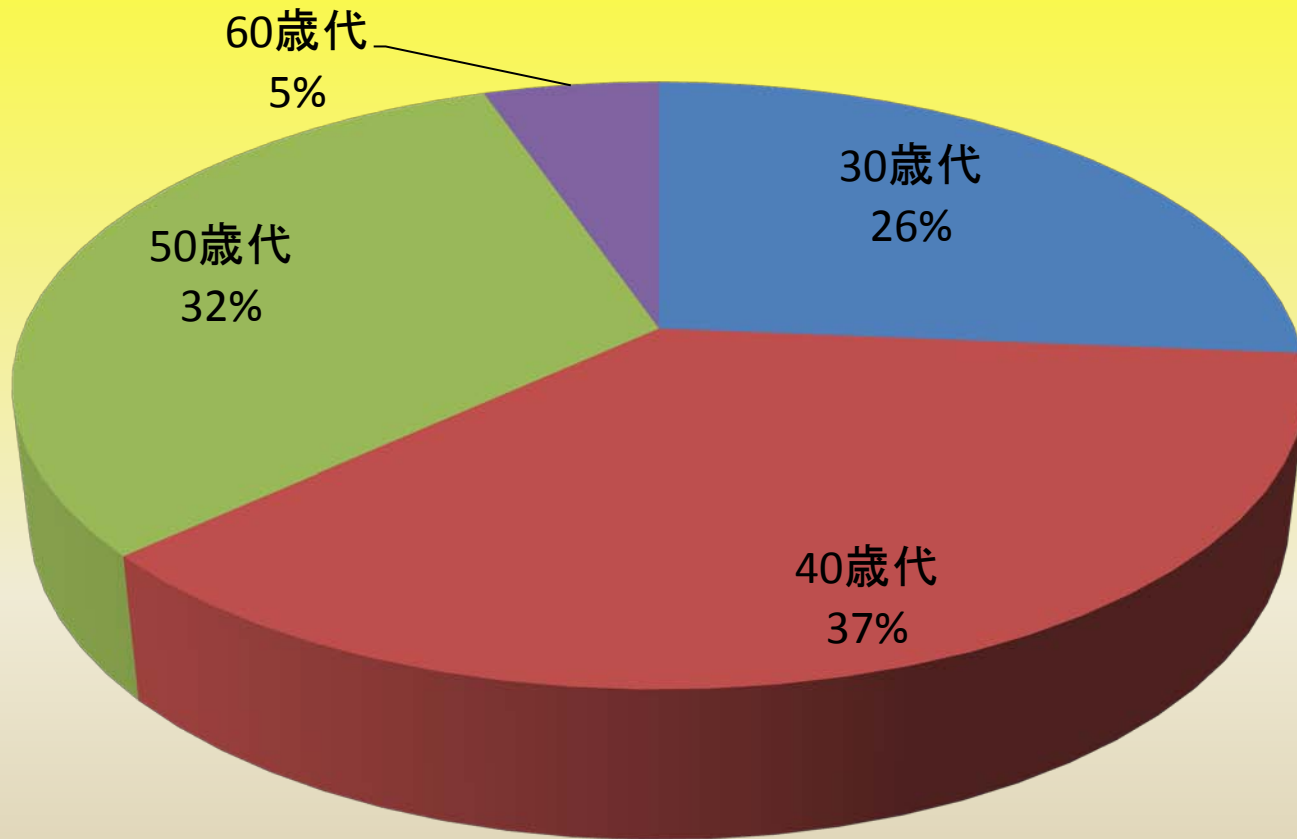
かがわ医療福祉総合特区は、医療資源が乏しく、過疎化と高齢化が進む島しょ部・へき地の住民を含む全ての県民が、一定水準の医療と福祉が受けられ、安心して生活できるよう、医師だけでなく看護師・薬剤師などの医療人材や遠隔医療システムなどの医療資源を有効に活用し、福祉等との連携を図ることで、島しょ部・へき地を含む地域の医療モデルとなる環境を作ることを目的に香川県が申請し、昨年末指定されたものです。

勤務先

n = 19

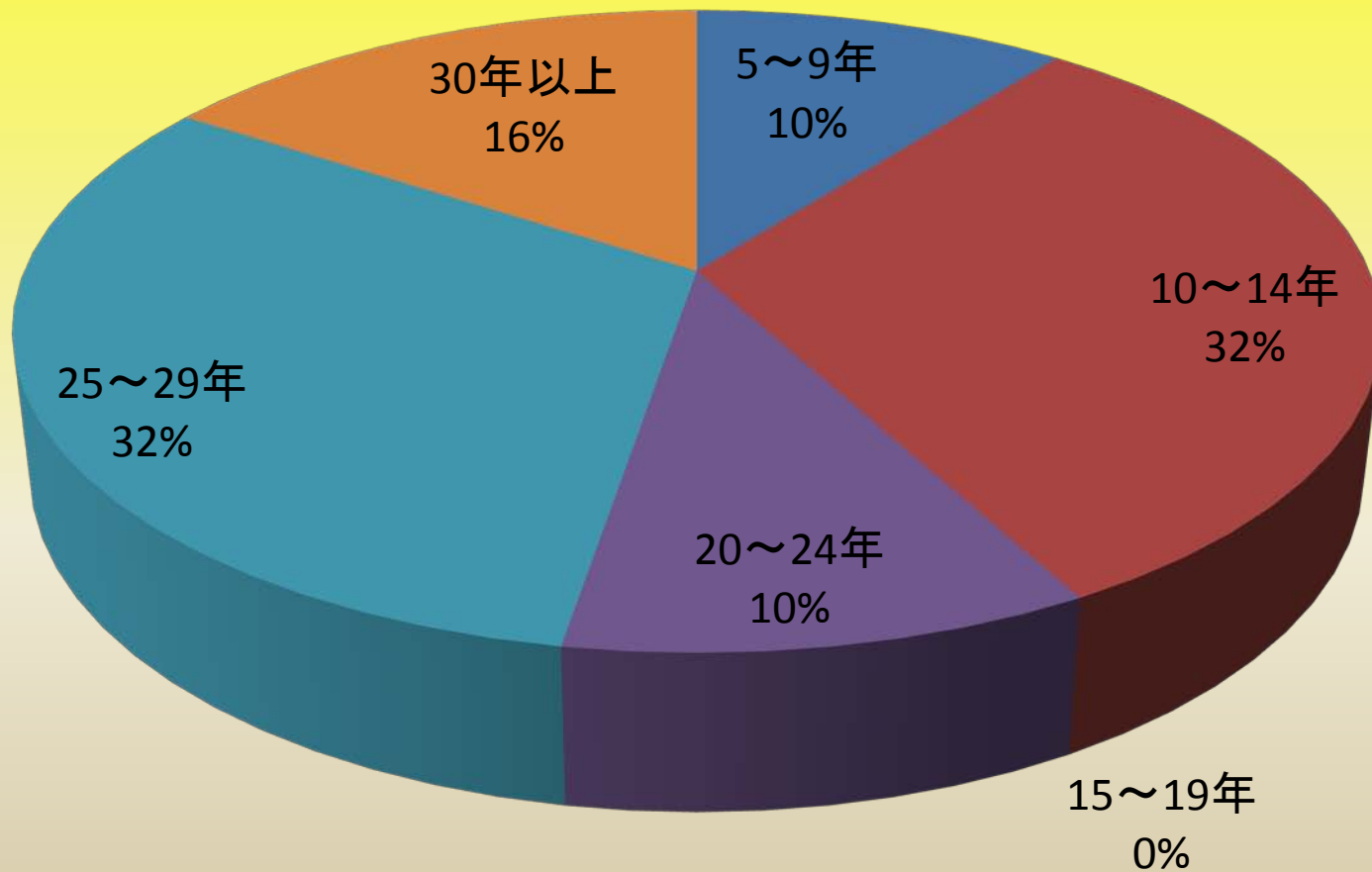


受講生の年齢 (n=19)



勤務経験年数

n = 19



受講生の持つ資格

看護師19

緩和ケア認定看護師(1)

救急救命士(1)

介護支援専門員(3)



「オリーブナース」1期生が大切

皆様方のご協力とご理解を得ながら

「オリーブナース」を温かく見守り育てて
いければと思います

